

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>1 単身高齢者をどう支えていくか（30分）</b></p> <p>日本人の平均寿命が伸び、高齢者の存在感がますます高まっています。総務省などによると、65歳以上の人口は、日本の総人口の約3割を占めています。生活環境の改善や医療技術の進歩などにより、気力や体力が充実している高齢者が多く、定年後も元気に働く人が増えています。</p> <p>また、高齢化が進む中で、65歳以上の一人暮らしが急増しています。1990年には約162万人だった単身高齢者が2020年には672万人と、この30年で4倍に増加をしています。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2040年には896万人に達し、高齢者の男性5人に1人、女性4人に1人が独居する状況になると推測されます。</p> <p>高齢者の一人暮らしが増える要因として、長寿化による増加や、核家族化、今後は男女共に未婚化の影響も大きくなると考えられます。</p> <p>高齢になることで、心身の機能の衰えが進み、多くの問題が生じやすくなります。核家族化で近くに家族がいない。また、子どもがいない場合、老後を家族に頼むことができないなど、単身高齢者は常に不安を抱えての生活になりかねません。</p> <p>高齢化が進む中で、単身高齢者が安心して暮らせる仕組みを構築するために、以下質問いたします。</p> <p>(1) 市内の高齢化率について  (2) 市内の単身高齢者世帯数について  (3) 単身高齢者の相談窓口である民生委員・児童委員の充足率は。  (4) 単身高齢者の生活サポートセンターの活用状況は。  (5) 単身高齢者にとっての地域支え合い協議会の役割は。  (6) 認知症の単身高齢者への市の対応は。</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p data-bbox="172 315 1114 405"><b>2 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種対象者への最終通知について</b> (10分)</p> <p data-bbox="164 472 1121 562">第3回定例会で子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種対象者へのフォロー体制について質問をさせていただきました。</p> <p data-bbox="164 573 1121 775">令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、それに伴い、約9年間の勧奨差し控えの影響を受けた対象者も、3年間の期間限定で、接種を受けられますが、令和6年度末までの時限措置になるため、接種忘れがないように対応する必要があります。</p> <p data-bbox="164 786 1121 1032">前回の一般質問の際に、本年4月に9価ワクチンが承認されたことで、対象者へ通知を行ったとの回答をいただきました。しかしながら、期限についての記載がなく、これでは、接種忘れが出ることが懸念されます。接種忘れがないよう対応が必要ではないでしょうか。この件についての見解をお伺いいたします。</p> <p data-bbox="185 1099 967 1245">(1) キャッチアップ接種対象者数について (2) 期限内に接種をするための1回目の接種期限は。 (3) 接種忘れを防ぐための対応について</p>	市長